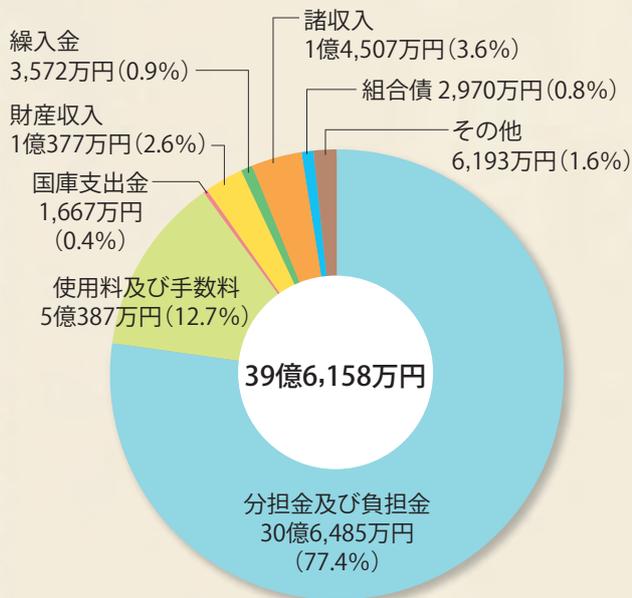


平成24年度では、これまで進めてきた行財政改革効果が表れる中、引き続き職員数や事務事業の見直しを行うなど、将来的な歳出総額の計画的抑制に努め、市町分担金が平成で最も少なくなりました。

平成24年度 歳入 決算額



39億6,158万円

前年度と比べ

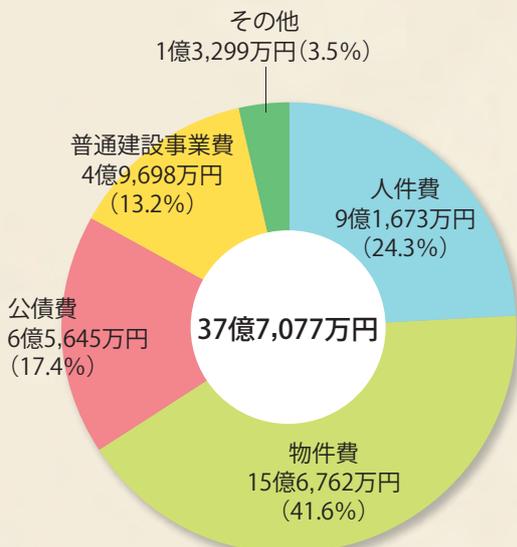
3億2,791万円の減額

皆さんからの税金にあたる市町分担金は、前年度と比べ3億1,790万円の減少となりました。これは、起債の償還完了などにより公債費が大幅に減少したこと、職員数の見直しなどの行財政改革によるものです。

国庫支出金は、折居清掃工場更新事業及び粗大ごみ処理施設等更新事業に対して交付があり、前年度と比べ1,383万円増加しました。

諸収入は、クリーン21長谷山の効率運転等によるごみ発電収入増加などにより、前年度と比べ1,866万円増加しました。

平成24年度 歳出 決算額



37億7,077万円

前年度と比べ

4億5,678万円の減額

人件費は、職員数の減員や退職者数が減少したことなどにより、前年度と比べ2億3,112万円の減少となりました。

物件費は、前年度と比べ744万円の増加となりました。これは、クリーン21長谷山の一部運転委託の拡大や大阪湾埋立処分地の焼却灰処分単価の増額改定によるものです。

公債費は前年度と比べ1億8,449万円の減少となりました。今後も施設建設等に要した整備事業債の償還が順次完了し、償還額は低い水準で推移していきます。

平成24年度の主な取り組み

- ①粗大ごみ処理施設等更新事業の工事着手
- ②折居清掃工場更新事業の環境影響評価の開始など事業の推進
- ③ごみ発電及び容器包装廃棄物リサイクル事業など循環型社会の構築に向けた事業の一層の推進
- ④環境ISO14001適合自主宣言活動の全庁サイト拡大及び地球温暖化対策実行計画（第2期）の推進
- ⑤広報紙「エコネット城南」や「組合設立50周年記念誌」の発行、絵画募集等を通じた環境情報の積極的発信